

## 小平南西部地域のデマンド型交通の検討について（6月）

### 1 実証実験運行に向けた検討課題について

(1) 利用対象者 ※1

公共交通としての役割や目的との兼ね合いを踏まえた対象者要件の設定有無の検討

(2) 利用方法 ※2

運行（予約受付・配車）システムに応じた事前登録の有無や予約方法の検討

(3) 運行エリア ※6月の検討課題

運行エリアを2つに分けることを基本に、エリアを跨ぐ移動ニーズへの対応の検討

（鷹の台駅西側エリア⇄中央公民館、津田公民館・図書館の2か所程度）

→跨ぐ場合は追加運賃を検討する

(4) 乗降場所

利用者待機中の安全面や効率的な運行を視野に入れた乗降場所の確認や整理

→ 現場確認を行う

(5) 運行曜日

車両1台で2つのエリアを分けて運行する際の曜日の調整

(6) 運賃及び目標人数

利用見込みと運賃収入の適正な把握と継続運行へ移行する際の判断基準の検討

(7) 運賃収入以外の収入の確保について

他の地域との公平性の観点から、市の補助金が過度な負担とならないよう広告収入などの確保を検討（デマンド型交通の性質上、利用者1人当たりの運行経費が高くなるため）

※1、※2については、市や運行事業者が行う予約受付システムの選定状況によって検討する

### 2 アンケート調査の実施について

昨年度、意見のあったアンケート調査の実施の可否

(1) 目的 デマンド型交通の実証実験運行に向けた周知・PRや利用の意向確認

(2) 対象者 南西部地域の住民

(3) 実施時期 令和5年度8月以降

(4) 実施方法 自治会を通じて実施、公共施設でのアンケート調査票の配布・回収

(5) 調査内容（案）

- ・デマンド型交通の説明
- ・デマンド型交通に対する関心度や利用の意向確認
- ・利用するとしたら、その利用目的、行先、頻度、乗降場所、運賃、本人属性